

EV0 2 Academy パッケージ

オーバーライド機能 マニュアル

2023年5月22日

※こちらは EVO 2 Pro V3 バージョン V1.1.17 専用マニュアルです。



# 目次

1 注意事項	-1
2 EVO 2 Academy 同梱内容	-3
3 オーバーライドの使用方法	-4
3-1 オーバーライド仕様	-4
3-2 危険時の操縦権譲渡	-4
3-3 各 RC の操縦モードについて	-5
4 ペアリングについて	-6

#### 1. 注意事項

EVO 2 Academy 版では今後アプリを現在の Autel Explorer から Autel Enterprise に切り 替えるため、現バージョンをお使いのお客様は機体とアプリのバージョンをそのままお使 いください。

自動バージョンアップの案内があったとしても、決してバージョンアップしないようにご 注意ください。

※もしバージョンアップした場合、Autel Enterprise への切り替えに支障が出る可能性が あります。

# 2. EV0 2 Academy 同梱品



- ・EVO2 Pro V3 本体 ×1(バッテリー込み) ・ジンバルカバー × 1 • Smart Controller SE × 2 ・予備プロペラ ×2セット(1セット2名) ・予備バッテリー × 1 ・充電アダプター × 1 ・AC ケーブル × 1 ・USB—Cケーブル × 1 ・ハードケース × 1 ・ストラップ × 2 ・予備スティック ×2セット(1セット2個) ・SD カード 32G × 2
- ・各種取り扱い説明書
- ※EVO 2 Academy 版の EVO 2 Pro V3 は通常版の EVO 2 Pro Rugged Bundle V3 と同じ 機体と RC です。

※EV0 2 Academy 版は通常解放していない教習向け機能が搭載されています。

#### 3. オーバーライド機能の使用方法について

3-1 オーバーライド仕様

EV0 2 Academy のオーバーライド機能は非常にシンプルです。

あらかじめペアリングしていれば機体1機と送信機2台の電源を入れていただければ すぐに使用できます。

使用アプリは同梱スマートコントローラーに内蔵されている Autel Explorer V3.8.0 送信機はマスターRC とスレーブ RC に分かれます。

・マスターRCの操縦は全権限を持っています。

- ・スレーブ RC はマスターRC が操縦していないときのみ操縦ができます。
- ・マスターRC 操縦時スレーブ RC は操縦できません。



#### 3-2 危険時の操縦権譲渡

EVO 2 Academy では機マスターRC とスレーブ RC の切り替えボタンは存在しません 2 個の RC はリアルタイムで機体とリンクし、機体の危険飛行を瞬時に回避することが できす。

例:スレーブ RC での操縦で操縦が誤り機体とパイロットに危険が及ぶ場合、 マスターRC の操縦スティックで回避操縦をした瞬時に操縦権切り替わります。 ※操縦権の切り替え速度 0.02 秒

# 3-3 各 RC の操縦モードについて

EVO 2 Academy ではマスターRC とスレーブ RC の操縦モードを自由にお選びいただけます。操縦モードはマスターRC に縛られることはありません。



マスターRC (モード1)

スレーブRC (モード2)

# 4. ペアリング方法

4-1 送信機の電源をつけていただいて、カメラビューの画面に入ります。

Ω		<b>×</b>	BO	"ittl	None 0	N/A o	N/A	()	ŝ
HN/A N/	A DN/AN/A								
1									1
送信機と機体力	が切断								
されました	×								
									^

4-2 カメラビューの設定項目から、送信機を選択してペアリングを押します。

	7F イト 👻	iii)	<sup>nc</sup> atll	None 0	N/A o	N/A	())	ŵ
H N/A N/A D N/A N/A 送信機と機体が切断 されました								
								^
設定			送信相	幾				×
ぽ フライトコントロール	送信機キャリブレーション							>
<ul> <li>● ビジュアルナビゲーショ</li> <li>&gt; &gt;</li> </ul>	コマンド							>
曲 送信機	ペアリング							>
図 画像伝送	送信機カスタマイズボタン							>
38 機体バッテリー								
る ジンバル								
じ ライブス								

4-3 ペアリング画面を開きましたら、マスターRC とスレーブRC のリンクが可能です。
 ※Autel Explorer アプリにて、この機能が使用できるバージョンが下記になります。
 機体+送信機 V1.1.17
 アプリバージョン V3.8.0

設定	<	ペアリング	×				
೫ フライトコントロール ◎ ビジュアルナビゲーショ ン	周波数をペアリングするリ	モコンを選択してください	マスターRC スレーブRC				
茴 送信機							
図 画像伝送		Sten 1					
38 機体バッテリー		機体の電源を入れ、ペアリングボタンを長押しします (図を参照)。イ ジゾケーターが緑色で素早く点滅し始めたらRCの接続が開始します。					
る ジンバル		Step 2					
じ ライブス		RCを選択					
Security							

4-4 先に機体のリンクボタンを押してください。

機体の電源を入れた後、図の通りに機体格納リンクボタンを3秒以上押してください。 離します機体前後アームが素早く緑色 LED の点滅が始まります。 緑色 LED の点滅後、機体は接続モードに入ります。



#### 4-5 マスターRC とスレーブ RC を選択します。

機体が接続モードに入りましたら、送信機のマスターRC アイコンもしくは スレーブ RC アイコンをタップしてください。

※ペアリングの際はマスターRCからお願い致します。



## 4-6 送信機選択後接続インジゲーターが表示されます。

少々お時間かかります。そのままお待ちください。

設定			
第 フライトコントロール			
<ul> <li>● ビジュアルナビゲーショ</li> <li>&gt;</li> </ul>			
茴 送信機	<u> </u>	×	
図 画像伝送	接続しています、お	待ちください	
靄 機体バッテリー			
面 ジンバル			
回 ライブス			

※もし1分ほどこのままの状態で変化がない場合はバージョンに問題がありますので、 お買い求めの代理店までご連絡ください。

※接続モードの場合でも機体と送信機の電源を切っても問題ありません。

## 4-7 接続完了後一度機体と送信機ともに再起動してください。

※機体画面表示にマスターなのか、スレーブなのかは表記がありませんので

ペアリンク後、お客様により識別をしていただく必要があります。



再起動後に機体からカメラの映像が来ていることをご確認ください。

